

2008年 第7回若獅子杯情報

○ 大会モットー

- ・ 「選手の健康管理」が全てのルールに優先します。
- ・ 主審に全権があり、両チームはそれに従わなければなりません。
- ・ 罵詈雑言ではなく、叱咤激励していきましょう。
- ・ 新しい少年野球のモデルを作っていきましょう。

○ 主催

「若獅子杯実行委員会」

- ・ 実行委員長：高橋（北方東部）
- ・ 審判長：
- ・ 事務局：金城（夏見台A）

○ 参加資格

- ・ 単独チームで2年生以下 ※選手が7名でも参加可（7名で守り、7名で攻撃することも可）
- ・ 参加費：3,000円（開会式において集金します）

○ リーグ戦及び決勝トーナメント

- ・ 参加17チームを4ブロックに分割します。
- ・ 各4ブロックの勝率上位2チームが決勝トーナメントに進出します。
- ・ 準決勝は4チームが同一グラウンドで行います。
- ・ 決勝は審判長が主審を務めます。
- ・ 試合結果については、勝利チームが事務局まで連絡して下さい。

（組合せ表は別紙のとおり）

※来年3月から開催予定の若獅子ベースボールクラシック（WBC）への参加は、決勝トーナメント進出の8チームとします。

○ 表彰

- ・ 優勝、準優勝チームには、賞状、ブロンズ像、旗、カップ、メダルが授与されます。
- ・ 3位（2チーム）には、賞状、盾、メダルが授与されます。

○ 大会期間

予定日	内容
8月31日（日）	抽選会
9月14日（日）	開会式（8時30分～高瀬少年B面※受付8時） ※雨天の場合、15日（月）予定
9月14日（日）～10月下旬	リーグ戦（各ブロックで調整のうえ実施）
10月下旬～	決勝トーナメント
11月末	決勝

○ 開会式担当割

・スケジュール

- ① 司会：金城（夏見台A）
- ② 開会宣言：
- ③ 実行委員長挨拶：高橋（北方東部）
- ④ 審判長挨拶：
- ⑤ 選手宣誓：抽選番号7番（宮本B）
- ⑥ 閉会宣言：

- ・ 当日の会計：夏見台A
- ・ 石灰及びラインカー準備：夏見台A
- ・ 放送器具準備：宮本B
- ・ 各チームは、団旗、プラカード持参（プラカード嬢はお母さん、選手の姉妹でも可）
- ・ 他、各チームは選手の整列等進行にご協力をお願いします。

○ 試合形式

1. バッテリー間13m、塁間21mとする。
2. 主審のすぐ後ろ（1～2m）にバックネットを張り、パスボールを防ぐ
3. 試合は3回、時間は75分。
時間優先であるが、後攻が負けている場合は当該回裏の攻撃を続行すること。
4. コールドゲームはなし。
5. 試合球は軟式公認C球（いわゆるトップボール）、各チーム2個提出。
ニューボールでなくとも可。
6. ボークはとらない、監督に注意。投手は9アウトで交代のこと。
7. 投球練習球数は、初回5球、次回以降3球とする。交代投手も5球。
8. 振り逃げなし。主審は、「三振」「フォアボール」を打者に伝えてあげる。
9. 打者は必ずヘルメット着用のこと。捕手はヘルメットとプロテクタ着用、レガースは自由。
10. ユニホーム着用の義務は強制しないが、帽子と背番号は着用すること。
11. 必ずスポーツ保険に加入すること。危険なプレーは厳禁。
12. 審判は両チームより2名ずつ出し合い、主審は話し合いで決める。
13. 選手登録は不要。ただしメンバー表は試合前に交換、用紙は自由。
14. 選手および審判は試合開始予定時刻の1時間前に集合して試合開始に備えること。
15. 塁コチャーは大人でも可。大威嚇的な言動はつつしむこと。
16. 時間優先であるが同点の場合、サドンデス1回（1アウト満塁3番打者から攻撃開始）。
ただし、ベンチに下がった選手の復活は認めない）を行い勝敗を決する。前記で決しない場合は試合以外の方法で決する【当該チーム監督の協議による任意の手法（抽選など）】。
17. 最終順位は、勝利数の多いチームを上位とする。
同じ場合は相対するチームに勝ったチームを上位とする。
前記で決しない場合は、当該チーム間の総得失点の差が大きい方を上位とする。（サドンデス回での得失点は含めない）
18. 上記以外は公認野球規則を適用する。